

対談

## 拉致問題は重大な人権問題

——解決を阻んでいるものは何か？

蓮池 透さん × 池田香代子さん

(北朝鮮による  
拉致被害者家族会  
前事務局長)

(翻訳家・  
著書「世界がもし100人の村  
だったら」(マガジンハウス))

講演

## 人権と歴史認識を 考える

中村政則さん(一橋大学名誉教授)

著書:『近現代史をどう見るか——司馬史観を問う』(岩波ブックレット)・『戦後史』(岩波新書)  
『昭和の記憶を掘り起こす—沖繩、満州、ヒロシマ、ナガサキの極限状況』(小学館)など多数。

発言者

吉武輝子さん  
(作家)

大門 哲さん  
(元杉並区教育委員)

# 子どもたちに伝えたい

# 人権と歴史

## 人権と歴史認識を考える7・21集会

杉並の教育の現状で、未来をひらくための人権意識や歴史認識が育めるのだろうか？ 危惧されます。今求められている、人権意識とは？ 歴史認識とは？ など考えてみましょう。

2009年

7月21日(火)



開場 午後6時15分

資料代:800円  
高校生以下無料

開演 午後6時45分

杉並公会堂 大ホール

杉並区上荻1-23-15 (JR荻窪駅北口徒歩7分)  
TEL:03-3220-0401

主催:人権と歴史認識を考える7・21集会実行委員会

連絡先: TEL 090-1859-6656/090-9965-8682

呼びかけ人 (順不同): 池田香代子 (翻訳家)・石崎あつ子 (元社会教育委員)・遠藤織枝 (大学元教授)・熊谷博子 (映像ジャーナリスト) 大門哲 (元杉並区教育委員)・中村平治 (東京外国語大学名誉教授)・服藤早苗 (女性史研究家)・三上昭彦 (明治大学教授)・吉武輝子 (作家)・渡辺照子 (弁護士)・梁 東準 (杉並民団前団長)